

徳義で護ろう。

救いは
あなたの心にある。

鹿児島県医師会医師不足対策基金

鹿児島県医師会

鹿児島県の医療現場が危篤です!

新臨床研修医制度が始まった平成16年度105名だった鹿児島県の研修医が、年々減少し、今年は半数の55名に激減しました。この様な状況のために大学は地方から医師を引き上げ、医師の不在や診療科の偏在で閉鎖を余儀なくされた医療機関も出始めています。特に3K(キツイ・厳しい・危険)といわれる外科・産科・小児科・麻酔科・救急医療の分野での医師不足は深刻となり、お産も手術もできない鹿児島一という最悪の状況に至ることにもなりかねません。また、都市部にあっても、医師は休みもとれない、病気にもなれないという状況に置かれ、このままではあなたの老後を診る医師もいなくなってしまう。

地域医療に目覚め、使命感を持った医師を育成することが急務です。そのためには研修医の地元定着を促す、「魅力ある研修プログラム」を大学と医師会・行政が一体となって創り上げ、研修医に対しては研修環境を整備し、住宅の確保や生活の支援など積極的な助成を行う。また医学部5・6年生に対しては、修学費用の助成を行うなど、思いきった対策が必要です。

卒業後の臨床研修医の定着と県内で働く医師を確保するために、「基金」の創設が今年3月の代議員会で承認され、準備を進めています。鹿児島県民のために血の通った温かいお金、活かせるお金の拠出を切にお願い申し上げます。鹿児島県の医療現場を救うのは、あなたの決意です。———

鹿児島県医師会医師不足対策基金 ご協力をお願い

鹿児島県医師会

会長 池田 琢哉



鹿児島県医師会医師不足対策基金設置要綱

〔募金の名称〕

鹿児島県医師会医師不足対策基金

〔基金の目的〕

鹿児島県内で働く医師の確保を目的とする基金

〔募金〕

1口 5,000円以上（個人・法人何口でも可）

〔基金の支出〕

基金は次の場合に支出する。

- （1）鹿児島県内で研修する一定の要件を充たした医師に対し研修期間中の生活費支援として助成する事業に要する費用
- （2）その他県内の地域医療を担う医師の確保、定着、偏在解消を促進するために必要と認められる活動・事業に要する費用

〔助成対象者〕

事業の助成の対象となる者は、次の要件をいずれも満たす者とする。

- ①鹿児島県医師会会員であること
- ②鹿児島県内で初期臨床研修を受けること
- ③後期臨床研修を鹿児島で受ける意思があること
- ④医師不足対策基金運営委員会が助成の必要を認めた者

〔募金振込方法〕

下記口座へお振込み下さい。

【振込口座】鹿児島銀行 武町支店 普通預金1506910

口座名義 鹿児島県医師会医師不足対策基金
会長 池田 琢哉

〔基金に関するお問い合わせ先〕

〒890-0053

鹿児島市中央町8-1 鹿児島県医師会庶務課

TEL：099-254-8121

FAX：099-254-8129

E-mail：info@kagoshima.med.or.jp



このままでは
かごしまに
医師がいなくなる

地域医療の未来を守るのは我々の決意です。
さあ立ち上がろう!!

鹿児島県医師会医師不足対策基金

〒890-0053 鹿児島市中央町8-1

TEL:099-254-8121(代) FAX:099-254-8129

E-MAIL:info@kagoshima.med.or.jp